

PCI Expressライザ ボード インストール手順

HP ProLiant DL100シリーズ Generation 2サーバ用



取り付けを開始する前に、
必ずこのカードをお読みください。

© Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

PCI Expressライザ ボード インストール手順

初版（2005年3月）
製品番号 381773-191

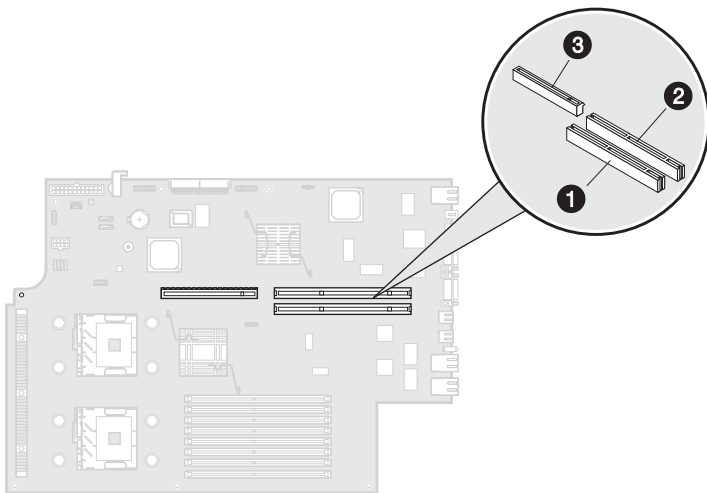


381773-191

サーバI/Oシステムの概要

システム ボードのPCI 拡張スロット

システム ボードには、PCI拡張スロットが3個あります。

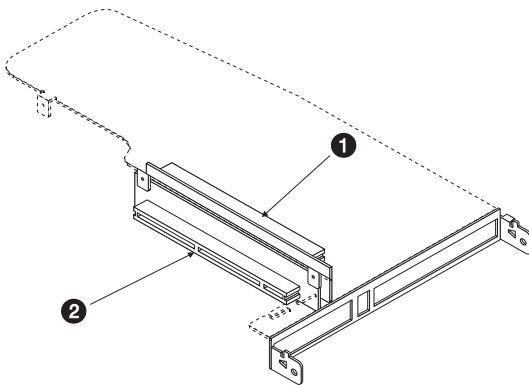


番号	名称	機能
1	64ビット/133MHz PCI-Xスロット	ロープロファイル64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボードをサポート
2	64ビット/133MHz PCI-Xスロット	標準ハイト/フルレングス64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボードをサポート
3	PCI Express スロット	<ul style="list-style-type: none">HP ProLiant DL140 Generation 2 サーバでは、フルレングスPCI Express x8拡張ボードをサポートHP ProLiant DL145 Generation 2 サーバでは、フルレングスPCI Express x16拡張ボードをサポート

注：PCI Expressライザ ボード オプション キットを取り付けていない場合、PCI Express拡張ボードはサポートされません。

PCI ライザ ボードの拡張スロット

PCIライザ ボード アセンブリには2枚のPCI-Xライザ ボードが付いています。このライザ ボードは、システム ボードの拡張スロットの機能を、システム ボードに対して90度の位置にある1組のスロットで使用できるように変換します。



番号	名称
1	標準ハイト/フルレングス64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボード PCI Expressライザ ボード オプション キットを使用すると、このライザ ボードをPCI Expressモデルのボードと交換できます。
2	ロープロファイル64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボード

PCI Expressライザ ボード オプション

PCI Expressライザ ボード オプションを取り付けると、ご使用のProLiantサーバで、高帯域幅を多用する周辺装置を使用できるようになります。

注：このカードで説明する手順は、サーバがラック外の水平で安定した場所に置かれていることを前提としています。

重要：PCI Expressライザ ボードを取り付ける際は、以降の各項で説明する取り付け前と取り付け後の手順に従ってください。



注意：ライザ ボードを取り扱う際は、ご使用のProLiantサーバに該当する『Maintenance and Service Guide』の第2章にあるESDに関する注意事項に従ってください。このガイドは、HPのWebサイト <http://www.hp.com/>（英語）からダウンロードできます。



警告：サーバのカバーを開く前にサーバの電源を正しく切っておかないと、装置が損傷したり、けがしたりすることがあります。

注：このカードの説明は、HP ProLiant DL100 Generation 2サーバ シリーズの複数のサーバ モデルに対応します。このため、このカードの図が、実際のProLiantサーバとは完全に一致しない場合があります。

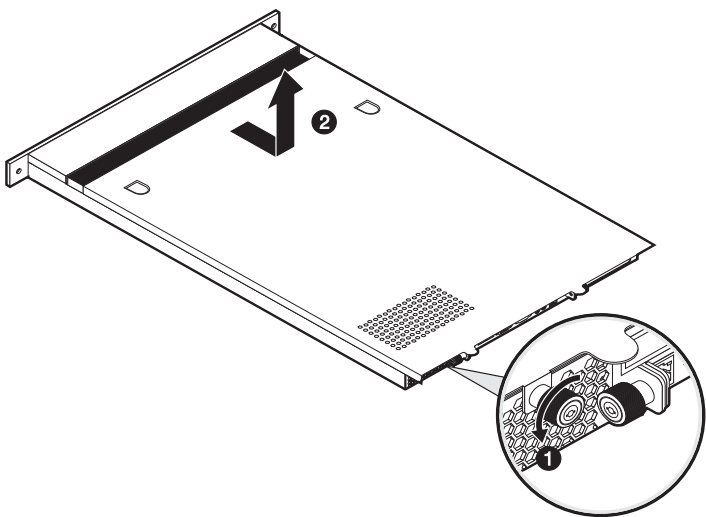
注：以降の各項では、説明を読みやすくするために、PCIライザ ボード アセンブリを、「アセンブリ」と呼びます。また、わかりやすくするために、図によってはPCIライザ ボード アセンブリの水平面を半透明で示している場合があります。

取り付け前の手順

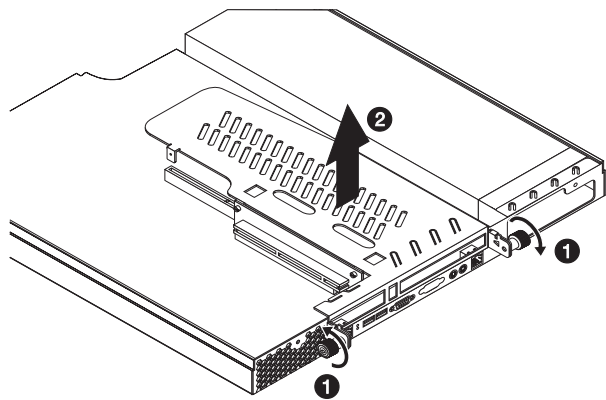
- サーバおよびサーバに接続されているすべての周辺装置の電源を切ります。
- すべてのケーブルを電源コンセントから抜き取って、金属製の物質（工具や装身具）による回路のショートによって発生する高電圧による感電を防止します。
必要に応じて、各ケーブルにラベルを付けます。こうしておくと、後の組み立てが簡単になります。
- 電気通信ケーブルを抜き取って、着信時に発生する電圧による感電を防止します。

PCI Expressライザ ボードの取り付け

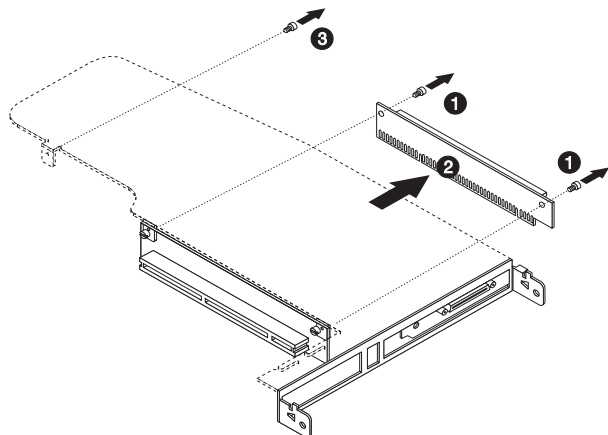
- 前の項で説明した取り付け前の手順を実行します。
- 次の手順を実行して、トップ カバーを取り外します。
 - リア パネルの固定用つまみネジを緩めます。
 - カバーをサーバの背面側に約1.25cmスライドさせてから持ち上げ、本体から外します。
後で取り付けることができるように、トップ カバーを安全な場所に置いておきます。



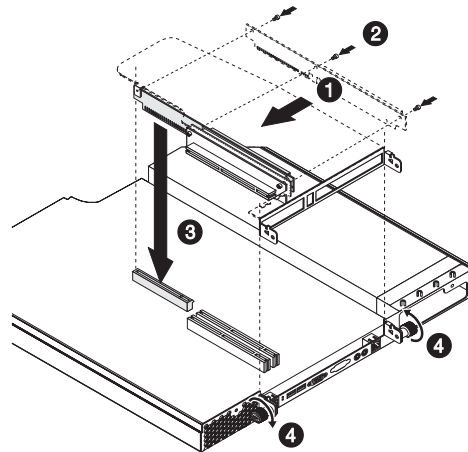
3. 既存の拡張ボードとシステム ボードを接続しているケーブルがある場合は、すべて抜き取ります。
4. 次の手順を実行して、PCIライザ ボード アセンブリを取り外します。
 - a. アセンブリを本体に固定している2本の固定用つまみネジを緩めます。
 - b. アセンブリを持ち上げて、本体から取り外します。



5. 次の手順を実行して、出荷時に取り付けられている標準ハイト/フルレングスのPCI-Xライザ ボードを、アセンブリから取り外します。
この手順で取り外す3本のネジは保管して、PCI Expressライザ ボードの取り付けに使用します。
 - a. ライザ ボードをアセンブリに固定している2本のネジを取り外します。
 - b. ライザ ボードをアセンブリから引き出します。
 - c. アセンブリの（スロット カバーの側から見て）3番目のタブに付いているスペア ネジを取り外します。



6. PCI Expressライザ ボードを保護パッケージから取り出します。
7. 次の手順を実行して、PCI Expressライザ ボードをアセンブリに取り付けます。
 - a. ライザ ボードの位置を、アセンブリのフルレングス ブラケット側で合わせます。
 - b. 手順5で取り外した3本のネジを使用して、ライザ ボードをアセンブリに固定します。
 - c. アセンブリの位置を、システム ボードの拡張スロットに合わせます。
 - d. 2本の固定用つまみネジを締めて、アセンブリを本体に固定します。



注：標準ハイト/フルレングスの拡張ボードをPCI Expressライザ ボード スロットに取り付ける際、システム ボード上のPCI固定用ブラケットに、拡張ボードの隅が固定されているかどうかを確認してください。

8. 次の項で説明する取り付け後の手順を実行します。

取り付け後の手順

1. すべてのコンポーネントが、説明されている手順に従って取り付けられていることを確認します。
2. サーバ内に残っている工具や固定されないまま残っている部品がないかどうかを調べます。
3. 取り外した拡張ボード、周辺装置、ボード カバー、およびシステム ケーブルを取り付けなおします。
4. トップ カバーを元に戻します。
5. すべての外部ケーブルとAC電源コードをシステムに接続します。
6. フロント パネルの電源ボタン (⏻) を押して、サーバの電源を入れます。